

日本原子力学会 標準委員会 システム安全専門部会 水化学管理分科会
第82回 PWR水化学管理指針作業会 議事録

1. 日 時：2024 年 11月 14 日（木）9:30 ～ 11:15

2. 場 所：WebexによるWeb会議

3. 出席者（順不同、敬称略）

委員）中野（信）、莊田、宮永、大橋、梅原、中浜（柴田委員代理）、中野（佑）、梅木、
前田^記（長嶺委員代理）以上 9名

常時参加者）小松、西村、山崎（慎） 以上 3名

オブザーバ）一丸 以上 1名

4. 配布資料

P11PWG-82-0	議事次第
P11PWG-82-1	第81回PWR水化学管理指針作業会議事録（案）
P11PWG-82-2	人事（委員登録、解除）
P11PWG-82-3-1	第69回システム安全専門部会議事録
P11PWG-82-3-2	PWR一次系水化学管理指針 改定 中間報告
P11PWG-82-3-3	新旧比較表 解説
P11PWG-82-3-4	コメント対応一覧表
P11PWG-82-4	二次系水化学管理指針改定部分整理表案
P11PWG-82-5	標準策定 5 か年計画の更新
P11PWG-82-6	標準アンケートへの対応
P11PWG-82-7	新知見情報の確認

5. 議事要旨

(1) 出席者確認

宮永幹事より出席者の確認があった。代理を含む委員9名の出席を確認し、7人以上の定足数を満足していることから、本作業会は成立することが確認された。また、オブザーバとして、一丸氏（九州電力）の1名の出席が承認された。

(2) 前回議事録確認

中野主査より、資料「P11PWG82-1 第81回PWR水化学管理指針作業会議事録(案)」について確認があった。作業会終了までに出席者からのコメント・修正は無く、正式版として承認された。

(3) 人事について

中野主査より、資料「P11PWG82-2 人事について」に基づき、柴田委員（北海道電力）の退任および中浜氏（北海道電力）の委員選任について説明された。その後、中浜氏の委員選任について出席委員による決議の結果、全員の賛成により承認された。

(4) 一次系水化学管理指針の改定検討状況

中野主査より、資料 P11PWG-82-3-1「第69回システム安全専門部会議事録」に基づき、システム安全専門部会において中間報告内容が承認され意見募集に移行したことが説明された。その後、前田常時参加者より資料 P11PWG-82-3-2「PWR一次系水化学管理指針改定 中間報告」および資料 P11PWG-82-3-3「新旧比較表 解説」に基づき、前回作業会審議後に開催された分科会コメントによる修正点について説明があった。出席者から特にコメントはなく、専門部会案のまま標準委員会委員からの意見募集を進めることで合意した。

また、梅木委員から第80回作業会の際に持ち帰りとしていたほう素同位体比測定タイミングについて、現状の記載案の通りとする意向が示された。

(5) 二次系水化学管理指針の改定検討状況

莊田副主査より、資料 P11PWG-82-4「二次系水化学管理指針改定部分整理表案」に基づき、指針の改定に関する検討状況について説明があった。主なコメントは以下の通り。

- ・ 4.4.5.1項 長期保管時のSG器内水について、「1～2週間の低下傾向を確認」を「必要に応じて確認」と見直す場合、今後の審議において設定根拠が弱い印象を持たれる可能性があるという指摘があり、「必要に応じて確認（例えば1～2週間の低下傾向を確認）」といった記載案も含め、中浜委員にて文案を確認することで合意した。
- ・ E4.1項 SG器内水のヒドラジン濃度の記載について、括弧が閉じていない点を修正するエディトリアルな修正を扱うこととし、今後、文案を送付して審議することで合意した。
- ・ 11.4項 二次系純水タンク内面工事後のフラッシングについては、今後も同様の工事が見込まれるため、記載は残すことで合意した。
- ・ 11.5項 トリチウムの記載内容について、水化学管理の観点では管理不要と判断できるため、記載を削除することで合意した。
- ・ 長期停止の定義が曖昧であり、今回の改定作業の中で明確化することで合意した。

上記コメントを早急に反映し、11/21分科会に向けてメール審議することで合意した。

(5) 標準策定5か年計画の更新

中野主査より、資料 P11PWG-82-5「標準策定5か年計画の更新」に基づき、現状の改定作業の進捗状況を反映した見直し計画案について説明があった。出席者からコメントはなく、分科会に提出することで承認された。

(6) 標準アンケートへの対応

中野主査より、資料 P11PWG-82-6「標準アンケートへの対応」に基づき、記載内容の説明があった。出席者からコメントはなく、分科会に提出することで承認された。

(7) 新知見情報の確認

中野主査より、資料 P11PWG-82-7「新知見情報の確認」に基づき、記載内容の説明があった。昨年度に発刊となった分析標準の改定3件および新規制定1件の状況が反映されていないため、長嶺委員にて修文案を検討・確認した後、分科会に提出することで承認された。

(8) その他

- ・ 次回の作業会の開催日程は、12/16週を候補として調整することで合意した。なお、1次系水化学管理指針に関する専門部会委員からの意見によっては、見送りとなる可能性もあることを確認した。

以 上